| | |
|---|---|
| 事例No. | 2105 |
| 公表年度 | R4 |
| 団体の属性 | 都道府県 |
| 団体名 | 岩手県 |

| | |
|---|---|
| 事例区分 | DX |

| | |
|---|---|
| タグ | ・交通事業<br>・ICT<br>・観光 |

| | |
|---|---|
| 事例種類 | 交通 |

事例内容・タイトル

MaaSによる地域の交通課題を解決するモデルの構築

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

# 125 MaaSによる地域の交通課題を解決するモデルの構築【岩手県】

## 事業の概要

○ 岩手県では、人口減少等による地域課題が深刻な北いわてエリアの交通サービスの利便性の向上や、観光需要の拡大による地域活性化等を目的として、北いわてエリアにおける「北いわてMaaS」の実証事業を開始した。

○ バス、鉄道事業者等により構成される「北いわてMaaS推進協議会」において、エリア内の交通事業者の交通データを一元化し、スマートフォンアプリにより交通機関の検索から運賃決済までをワンストップで行うことができる仕組みづくりを行った。

○ また、交通機関の乗車券だけでなく、沿線施設の利用券や割引クーポンなどを合わせて提供するとともに、周辺エリアの観光施設情報やモデルコースなども情報発信し、沿線地域の活性化や、利用者の利便性の向上を図っている。




チラシ

【参考情報①】 人口：122.1万人
関連URL：https://iwatemaas.jp/（北いわてMaaS HP）

【参考情報②】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（内閣府）とは
URL：https://www.chisou.go.jp/tiiki/rinjikoufukin/index.html

## もっと知りたい！ 担当者にインタビュー



（総務省）取組の経緯・きっかけを教えてください。



（岩手県）

新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ公共交通の利用促進や、地域経済の回復を図ることを目的とし、ポスト/ウィズコロナにおける輸送需要の取り込みを行うために、以下のようなMaaSの特徴に着目し、実証を実施しました。

① 販売窓口等の混雑に関係なく、対面での接触を回避しつつ事前に乗車券等をキャッシュレス決済可能。
② スマートフォンアプリ上のデジタルチケットにより、紙の乗車券等の受渡しが不要。
③ 複数の公共交通や目的地でのアクティビティ（観光施設の入館券、飲食クーポンなど）を組み合わせることにより、利便性が向上。



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



内閣府の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用しました。

★担当：岩手県ふるさと振興部 交通政策室★

令和3年度事業費 25,095千円
（うち、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（内閣府） 25,095千円）